

全建発第17～141号
平成17年8月12日

機関管理者 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第504回建設技術講習会(建設リサイクル)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員9万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められております。

このたびの第504回建設技術講習会では、建設リサイクル法の適正な運用と、公共工事のゼロエミッション化等の施策により、建設廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進が図られていることに基づき、建設リサイクルの現状と課題や「3R」の取り組みについて、具体の事例を含む最新の情報を得ることと、「建設発生土等の有効利用に関する行動計画」等の進捗状況を学ぶことを目的としております。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具

全建発第 16 ～ 310 号
平成 17 年 1 月 4 日

(各地方協会長) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 北 橋 建 治
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成 17 年度の講習会参加について (お願い)

本会の建設技術講習会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められ、職員研修の果たすべき役割は従来にも増して重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成 17 年度の建設技術講習会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に携わる方々にとって、業務に直接役立つ講習内容としており、講師には建設行政や建設技術等の各分野において第一線で活躍の方々を迎えています。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

主催：(社)全日本建設技術協会、北海道（予定） 札幌市（予定） 後援：国土交通省

第 504 回建設技術講習会（建設リサイクル）日程

—建設リサイクル法の適正な運用と、公共工事のゼロエミッション化等の施策により、建設廃棄物の 3 R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進が図られている。建設リサイクルの現状と課題、3 R の取り組みについて、具体の事例を含む最新の情報を得るとともに、「建設発生土等の有効利用に関する行動計画」等の進捗状況を学ぶ。—

会 場 …… 札幌市民会館 大ホール
〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 1 TEL 011-241-9171

1 日目 平成 1 7 年 1 0 月 1 2 日（水）			敬称略
10：10 あいさつ	国土交通省北海道開発局長	本 多 満	
10：30 "	北海道知事	高 橋 はるみ	
10：30 "	札幌市長	上 田 文 雄	
10：30 建設リサイクルに関する今後の動向	国土交通省総合政策局事業総括調整官室 建設副産物企画官	柳 橋 則 夫	
13：00 不法投棄の構造と優良化推進事業の 公開データ活用方法	千葉県県土整備部印旛地域整備センター 用地課長（千葉県産廃 G メン）	石 渡 正 佳	
14：10 【特別講演】 リサイクル緑化としての切株移植	環境林づくり研究所 所長（農学博士）	斎 藤 新一郎	
15：20 【地域における技術苦労話】 リ・パースコンクリート工法を使用した 事業説明及び技術開発に係わる苦労話	国土交通省北海道開発局旭川開発建設部 忠別ダム建設事業所えん堤班 第 4 えん堤係長 株式会社奥村組 技術本部 環境プロジェクト外部 技術開発課 課長	日 詰 智 之 森 本 克 秀	
15：50 【地域事業の紹介】 国営滝野すずらん丘陵公園の整備について ～循環型公園づくりをめざして～ 札幌恵庭自転車道線自転車道整備事業 について	国土交通省北海道開発局札幌開発建設部 国営滝野すずらん丘陵公園事務所 工務課長 北海道札幌土木現業所 道路建設課長	林 華奈子 佐 野 修	
2 日目 1 0 月 1 3 日（木）			敬称略
9：50 北海道におけるリサイクルの最近の動向	国土交通省北海道開発局事業振興部 技術管理課課長補佐	赤 代 恵 司	
11：00 産業廃棄物処理業界の取り組み	社団法人全国産業廃棄物連合会 調査部 次長	香 川 智 紀	
13：00 建設副産物のリサイクル技術開発の現状	独立行政法人土木研究所 技術推進本部 主席研究員	大 下 武 志	
14：10 建設工事を実施する上での石綿（アスベスト） 製品の取扱について	株式会社竹中工務店 生産本部 課長（環境担当）	橋 谷 勇 治	
15：10 閉会のあいさつ	北海道地区連合会長	許 士 裕 恭	
地域の独自調査			

【現場研修】 3 日目 1 0 月 1 4 日（金）

大通りバスセンタービル前（8:30）出発

- モエレ沼公園造成事業（下車説明） → 国営滝野すずらん丘陵公園整備事業（下車説明）
- 昼食（札幌市内） → 一般道道札幌恵庭自転車道線自転車道整備事業（下車説明）
- 新千歳空港（15:40）着後解散 / J R 札幌駅（16:50）着後解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

C P D S 学習プログラム認定講習会

第504回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 モエレ沼公園造成事業

..... 札幌市東区丘珠町

モエレ沼公園は、札幌の市街地を公園や緑地の帯で包み込もうという、「環状グリーンベルト構想」における北部の拠点公園として計画されました。モエレ沼を含む約 189ha を公園区域として、平成 17 年（2005 年）夏に全面完成いたしました。



モエレ沼公園は、ゴミ処理場建設の必要に迫られていた清掃事業とあいまって、ゴミ処理場として利用した後、公園造成を行うユニークな事業として整備が始まりました。昭和 54 年からゴミの埋立てが、昭和 57 年からは公園の基盤造成が始まり平成 2 年の処理場閉鎖まで搬入された廃棄物の総量は 270 万 t になります。

なお、昭和 63 年 3 月、初めて札幌を訪れた彫刻家イサム・ノグチは、雪の残るモエレ沼の水面と大地、その上に広がる北の空を眺めていました。この公園事業に強い関心を持った同氏の期待に応え、札幌市は公園の設計を委託し、同氏は、「全体をひとつの彫刻とみなした公園」のマスタープランを完成されました。

2 国営滝野すずらん丘陵公園整備事業

..... 札幌市南区滝野

滝野公園では「自然とのふれあい」をテーマに、森林・草原・芝生の「緑」、滝・溪流・湖の「水」、雪・氷の「白」をイメージからとし、これらにふさわしい公園づくりを目指して、現在も整備を進行中です。公園全体は、「溪流」「中心」「宿泊」「森林スポーツ」「自然観察」「保全」の 6 つのゾーンに区分され整備と活用を進めています。

整備は昭和 53 年からスタートし、58 年 7 月に「溪流ゾーン」「保全ゾーン」の一部 30ha を開園しました。続く 63 年 1 月には「歩くスキーコース」12ha、平成元年 9 月には「青少年山の家」12ha、同 6 年 6 月には「オートリゾート滝野」20ha、14 年度には「カントリーガーデン」「こどもの谷」28ha、さらに 16 年 7 月には「森のすみか」約 6ha を開園し、現在までに計画総面積 395.7ha のうち、約 49%の 192.3ha が開園しています。



3 一般道道札幌恵庭自転車道線自転車道整備事業

..... 北広島市西の里

平成 9 年度から整備が進められてきた「札幌北広島自転車道」は、札幌市の豊平川河畔から JR 北広島駅までの 21.2km の自転車歩行者専用道路であり、平成 16 年度には札幌市と一本のラインで結ばれました（一部未完成）。

北広島市域は、野幌原生林に包まれた緑あふれる森が連なり、自然豊かなロケーションに恵まれています。さらに、沿道には「自転車の駅（計画中）」をはじめ、「学習の森」や「水辺の広場」といった便利施設を整備しています。サイクリングのみならず、森林浴や自然観察など多様な人々が楽しみ、学ぶことができる道路環境を整えました。



また、緩やかな道路勾（こう）配や独立した自転車歩行者専用道路であるため、子供からお年寄り、障害者の方々も安心して利用可能な道路をめざし、「安全・安心の道」——ノーマライゼーションモデル道路——としても全国に例を見ない高い整備水準にあります。

第 504 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料金：宿泊希望者には札幌市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
送金先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
 銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座№1015114
 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル 6F）
 お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「504」を付け加えて下さい。
問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
 「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 17 年 9 月 30 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 17 年 10 月 7 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成 17 年 10 月 11 日（火）・12 日（水）・13 日（木）延泊 14 日（金）

（1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	札幌グランドホテル	札幌市中央区北 1 条西 4 TEL: 011-261-3311	シングル	20 名	9,200 円
	札幌東武ホテル	札幌市中央区南 4 条東 1 TEL: 011-242-0111		40 名	8,700 円
B	チサンホテル札幌	札幌市中央区北 2 条西 2-9 TEL: 011-222-6611		50 名	8,000 円
	ブルーウェーブイン札幌	札幌市中央区西 7 条東 5 TEL: 011-511-7531		60 名	7,000 円
宿泊斡旋人数合計				170 名	

* 宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。
 また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

会場・宿舎案内図



会場（札幌市民会館 大ホール）

札幌市中央区北 1 条西 1 TEL011-241-9171

- ・千歳空港より「JR 札幌駅」まで快速で 36 分
- ・JR 札幌駅より地下鉄東豊線で一駅「大通駅」下車徒歩 2 分
- ・千歳空港より JR で 27 分乗車、新札幌乗換え、東西線で 18 分乗車、「大通駅」下車徒歩 2 分

現場研修集合場所
大通バスセンター前

第 504 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意下さい。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A ～ F を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行(株)宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 Tel 03(3272)2411 「全建担当デスク」

【往路】10月11日（火）講習会前日の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	東京（羽田） → 札幌（新千歳） 16:30 18:00	J A L 1 0 3 1 （日本航空）	40 席	15,500 円
B	大阪（伊丹） → 札幌（新千歳） 15:00 16:50	A N A 7 7 7 （全日空）	20 席	18,500 円
C	名古屋（中部） → 札幌（新千歳） 17:05 18:45	A N A 7 1 3 （全日空）	20 席	17,500 円

【復路】10月14日（金）現場研修当日

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
D	札幌（新千歳） → 東京（羽田） 17:00 18:30	J A L 1 0 2 8 （日本航空）	40 席	16,500 円
E	札幌（新千歳） → 大阪（伊丹） 17:30 19:20	J A L 2 0 1 2 （日本航空）	20 席	19,500 円
F	札幌（新千歳） → 名古屋（中部） 17:30 19:10	A N A 7 1 4 （全日空）	20 席	20,500 円

- ・上記代金には、航空保険特別料金（1区間 300 円）、燃料特別付加運賃（1区間 300 円）、旅客施設使用料（東京（羽田）100 円/名古屋（中部）200 円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約 40 分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機に時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道 1 席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭 乗 区 間	9/27～10/3 に取消した場合	10/4～10/6 に取消した場合	10/7 以降便出発ま でに取消した場合
A ～ F（全便共通）		3,000 円	6,000 円	9,000 円

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

第504回建設技術講習会(建設リサイクル)申込書

<個人情報の取扱いについて>
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現場研修	宿泊申込				航空便申込	
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○囲みにして下さい)	年齢		正会員	非会員			予約日にA・Bを記入して下さい				往路	復路
										A～Fを記入		
						10月11日	12日	13日	延泊14日	10月11日	14日	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

聴講料

正会員・特別会員・賛助会員
〃 (昼食不要)
正会員(地元(北海道内))
〃 (昼食不要)
正会員(地元)とは、北海道内に勤務(出先事務所を含む)がある正会員
非会員
〃 (昼食不要)
現場研修料

名× 9,800円 =
名× 8,200円 =
名× 3,000円 =
名× 1,400円 =
名× 14,800円 =
名× 13,200円 =
名× 7,100円 =

円
円
円
円
円
円
円

↑
現場研修
の昼食は
不要の申し
出はできま
せん

宿泊予約金
泊× 4,000円

航空便
往路 名×
復路 名×

円

円
円

計

円

計

円

↓ 全建に振込

「お申込み後の変更・取り消し・追加方法について」
お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03 - 3586 - 6640 迄
「聴講時の昼食について」
昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。
「現場研修時の昼食について」
現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。

↓ 西鉄旅行欄に振込